秋留台 Q & A (入試情報/H P 掲載版)

- ・秋留台高校はどのような学校ですか?
 - →秋留台高校はエンカレッジスクールで、もう一度基礎から勉強をやり直したい、自分の可能性をもっと伸ばしたい生徒を応援する学校です。入試に学力検査が無く、日々の学習については総合的に評価を行っています。テストだけで評価を行いません。

https://www.metro.ed.jp/akirudai-h/our_school/feature.html

- ・秋留台高校はどのような制服ですか?
 - →リンクをご覧ください。 https://www.metro.ed.jp/akirudai-h/school_life/symbols.html ※女子の制服は、スラックスとスカートから好きな方を選べます。
- ・秋留台高校は自転車で登校することはできますか?
 - →自宅からの距離に応じて、自転車で登校することは可能です。 東秋留駅からの自転車利用はできません。(置き場スペースが無いため)
- ・担任が2名であることは本当ですか?
 - →1・2 学年においては2 人担任制、3 学年においては1 人担任制を導入しています。 (令和4年度は実施)
- ・授業についていくことはできますか?
 - →教科によっては少人数制授業(1 つの集団が 10~20 人程度)を実施しています。 基礎から丁寧に指導し、基礎学力の定着を目指しています。

学び直しを特色としている学校のため、高校の教科書を使用しますが、進み方は他校よりも ゆっくりです。教科によっては、テスト前に質問教室を開くなど、安心して学習に取組める 環境を提供するなど、工夫をしています。

- ・部活動は何種類ありますか?
 - →運動部・文化部合わせて26種類あります(令和4年度)

活動の詳細は、HP内のYouTube動画やデジタル学校案内パンフレットもご活用ください。尚、外部指導員制度を導入している部活動もあり、専門的な指導を受けられる部活動もあります。

- ・入学する際、端末を購入しますか?
 - →原則として購入していただきます。下記 URL をご確認ください。

https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/smart_school.html

- ・行事はどのようなものがありますか?
 - →「体育大会」「オリオン祭(文化祭)」「修学旅行」「合唱コンクール」「マラソン大会」等が ございます。
- ・学校の様子が知りたい場合はどうすればよいですか?
 - →学校見学会、学校説明会等がございますので、ぜひご参加ください。

https://www.metro.ed.jp/akirudai-h/

その他、ご事情やご相談がある場合は、まず本校、総務保健部までご相談ください。

また、今年度本校の公式 YouTube チャンネルが完成しました。 こちらで学校の様子を発信していますので、ぜひご覧ください。

https://www.youtube.com/channel/UCB6Nbm5G8prb7onUwVYgZCQ/featured

《入学者選抜について》

- ・入学者選抜にはどのような種類がありますか?
 - →「推薦に基づく選抜」「分割前期募集」「分割後期募集」の3種類があります。
- ・本校では、学力による入学者選抜を行いません。
- ・入学者選抜ではどのような選抜方法で合否を判定しますか?
 - →「調査書|「面接|「小論文」の3点を基に判定します。

- ・入学者選抜に関して、参考になる資料はありますか?
 - →東京都教育委員会より発出されている下記資料をご確認ください。

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/admission/high_school/exam/pamphlet2023_japanese.html(令和 5 年度東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ)

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/admission/high_school/exam/release20220922_01. html(令和 5 年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱・同細目について)

- ・秋留台高校の期待する生徒の姿はどのような姿ですか?
 - →本校への入学を希望する皆さんには、次のことを期待します。
 - 1 本校の教育をよく理解し、本校で新たな一歩を踏み出し、自分の可能性を引き出し、 伸ばしたいという意欲をもっている生徒
 - 2 時間を守り登校し、授業をはじめとする様々な活動に対して、地道にこつこつと努力 を重ねることができる生徒

 - 4 中学校で部活動や生徒会・委員会活動を熱心に行い、高校でも同じように取り組むことができる生徒
 - ※ 特に推薦選抜では、上記4に該当し、本校入学後も意欲的に部活動、生徒会・委員会 活動に取り組む生徒を、強く期待します。
- ・調査書はどのように得点化されますか。
 - →推薦、分割前期、分割後期のすべての選抜において、「観点別学習状況の評価」を得点化します。 観点別学習状況の評価(A、B、C)を次の表のように得点化し、全ての合計を調査書点の満点(推薦300点、分割前期及び分割後期400点)に合わせて換算します。

| 教科 | 国語 | | | 社会 | | | 数学 | | | 理科 | | | 音楽 | | | 美術 | | | 保健体育 | | | 技術 家庭 | | | 外国語(英語) | | | |
|---------|--------|------------|----------------|--------|-----------|----------------|--------|-----------|----------------|--------|------------|----------------|--------|------------|-----------------|--------|-----------|----------------|--------|------------|--------------------|---------|-----------|---------------|---------|-------------|-----------------|-----------------|
| 银点别学習状况 | I知識·技能 | Ⅱ 思考・判断・表現 | Ⅲ主体的に学習に取り組む態度 | I知識·技能 | Ⅱ思考・判断・表現 | Ⅲ主体的に学習に取り組む態度 | I知識・技能 | □思考・判断・表現 | Ⅲ主体的に学習に取り組む態度 | I知識·技能 | Ⅱ 思考・判断・表現 | Ⅲ主体的に学習に取り組む態度 | I知識・技能 | Ⅱ 思考・判断・表現 | 田 主体的に学習に取り組む態度 | I知識·技能 | □思考・判断・表現 | Ⅲ主体的に学習に取り組む態度 | I知識・技能 | □□思考・判断・表現 | I II 主体的に学習に取り組む態度 | I 知識・技能 | □思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | I知識·技能 | □□□思考・判断・表現 | □ 主体的に学習に取り組む態度 | 観点学習状況の評価の得点の満点 |
| Aの得点 | 5 | 5 | 10 | 5 | 5 | 10 | 5 | 5 | 10 | 5 | 5 | 10 | 5 | 5 | 10 | 5 | 5 | 10 | 5 | 5 | 10 | 5 | 5 | 10 | 5 | 5 | 10 | |
| Bの得点 | 3 | 3 | 5 | 3 | 3 | 5 | 3 | 3 | 5 | 3 | 3 | 5 | 3 | 3 | 5 | 3 | 3 | 5 | 3 | 3 | 5 | 3 | 3 | 5 | 3 | 3 | 5 | 180 |
| Cの得点 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |

- 「自己PRカード」はどのように書けばいいですか。
 - →「本校の期待する生徒の姿」をよく読んでから書いてください。本校の特徴をよく理解し、なぜ秋留台高校に入りたいのか考えてください。中学校生活の中で得たことについては、行ったことやその結果だけではなく、苦労したことや工夫したこと、努力したことについてもしっかり書いてください。また、高等学校卒業後については、将来の夢や目標、学びたいことや希望する職業などを書いてください。「自己PRカード」は点数化されませんが、面接や選抜の資料として用います。

- ・面接での「自己PRスピーチ」では、どのようなことを話したらいいですか。
 - →推薦、分割前期、分割後期の全ての選抜の面接において、2分程度の「自己PRスピーチ」を行ってもらいます。次の<自己PRスピーチの内容の例>を参考に、自己PRしたいことを話してください。出願時に提出する「自己PRカード」に書いたことと同じでもかまいません。面接では、この「自己PRスピーチ」や「自己PRカード」の内容をもとに質問を行います。

<自己PRスピーチの内容の例>

- ・ 中学校時代にがんばったこと
- ・ 自分の長所
- ・ 高校入学後にやってみたいこと
- ・将来、つきたい職業
- ・小論文はどのような内容ですか。
 - →課題文を読み、その内容に関連して自分の考えや意見を述べます。文章を正しく理解する力、自分の考えをきちんと相手に伝えられるように表現する力が重視されます。出題形式、検査時間、字数制限については、令和4年度の問題を参考にしてください。令和4年度は、検査時間50分間、字数制限600字でした。

【今後も、良くあるご質問に関して、更新していきますので、参考にされてください。】